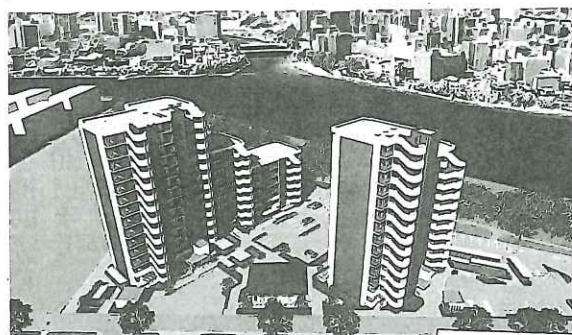


景観配慮の形状 デザインも調和



市営基町アパート21号棟と22号棟の完成イメージ図 (市の資料から)

14階建て2棟 12月着工

変わる街

広島市営基町アパート17号棟(中区)の建て替えで、市が新築する14階建て2棟の設計概要が25日、分かった。本川側からの景観や高層アパート群と調和したデザインを採用。12月に着工し、2027年1月末までの完成を目指す。

00号北にある広島県営基町住宅跡の国有地約7600平方メートルに整備する。いずれも鉄筋で21号棟は延べ約7360平方メートルの113戸、22号棟は同4300平方メートルの64戸。間取りは1〜3DKで、車いす利用者向けが4戸ある。

外観はアパート群に似た色合いやデザインにするが、景観に配慮して本川側に向かって階段状に

階数が低くなる形状とし、圧迫感を減らす。集会所や駐車場、駐輪場も



中国わいど

備える。一方、店舗1ースを設けなかったため、1、2階に店舗には補償金を去て26年度末までに別所へ移転してもらう。17号棟は鉄筋5階177戸で1995年に建った。市は耐震足を理由に、基町アパート群完成後では初の建て替えを16年12月に作られた市営住宅マネジ計画に位置付けた。度の計画更新に合わせたアパートの扱いを討する。(野平慧)